

所属 文学部		職名 准教授	氏名 橋本 あゆみ	学位 博士（文学）	兼担している研究科 文化創造研究科
研究分野 文学、言語学およびその関連分野			研究分野のキーワード 日本文学一般、近代文学、現代文学、関連文学理論		
学歴					
2008年03月	早稲田大学第一文学部総合人文学科卒業				
2010年03月	早稲田大学大学院文学研究科日本語日本文学コース近現代文学専攻修士課程修了				
2017年03月	早稲田大学大学院文学研究科日本語日本文学コース近現代文学専攻博士課程満期退学				
職歴					
2013年04月	日本学術振興会特別研究員DC2（2015年3月まで）				
2019年04月	大妻女子大学文学部 非常勤講師（2022年3月まで）				
2020年04月	青山学院大学文学部 非常勤講師（2022年3月まで）				
2020年04月	明治大学文学部 非常勤講師（2022年3月まで）				
2020年09月	共立女子大学文芸学部 非常勤講師（2022年3月まで）				
2020年09月	早稲田大学大学院文学研究科 非常勤講師（2022年3月まで）				
2021年04月	早稲田大学文学部 非常勤講師（2022年3月まで）				
2022年04月	愛知淑徳大学文学部 講師（2025年3月まで）				
2025年04月	愛知淑徳大学文学部 准教授（現職）				
2026年04月	愛知淑徳大学大学院文化創造研究科 准教授（兼担・現職）				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
坂口安吾大事典	分担執筆	2022年06月	勉誠出版	安藤宏・大原祐治・十重田裕一編集代表	105頁, 157頁, 184頁～185頁, 220頁～221頁
日本近代文学大事典 増補改訂デジタル版 第三期公開	分担執筆	2024年02月	JapanKnowlegde ネットアドバンス社	中島国彦（編集委員長）・橋本あゆみ（「松村栄子」項目分担執筆）	共同執筆につき本人担当部分抽出不可能
都市とポスト文学の都市論 浸食するフィクション／拡張するリアル	共著	2025年05月	ナカニシヤ出版	伊豆原潤星・山口直孝・松本健太郎 編著、楊駿驍・五井信・清水智史・杵淵由香・橋本あゆみ・井原あや・今井悠人・佐藤守弘・中谷いずみ・齋藤光之介・堀野正人・三浦詩織・谷島貴太著	81頁～90頁
検証 戦争に加担した日本文学2 戦中から戦後への 切断＝連続	分担執筆	2025年09月	花鳥社	小松靖彦編	222頁～238頁
学術論文					
大西巨人『神聖喜劇』論理のネットワークを駆けめぐる数奇な旅	単著	2023年07月	青土社 ユリイカ 特集・奇書の世界 806		144頁～151頁
戦後文学における 老いる身体 との対峙と逃避——有吉佐和子『恍惚の人』と大西巨人『迷宮』から	単著	2023年09月	昭和文学会 昭和文学研究 87		74頁～88頁
学会発表					
木村政樹『革命的知識人の群像 近代日本の文芸批評と社会主義』「第一部 文学史の整理」公開読書会コメント・話題提供	単独発表	2022年05月	科研費基盤研究（B）20H01233・「芸術運動と知識人」研究会第2回例会(オンライン（Zoom）開催)		
発表コメンテーター 金可烈「追い出された庶民たちー佐多稲子『車輪の音』、「薄曇りの秋の日」試論」	単独発表	2022年07月	日本近代文学会東海支部 第71回研究会(オンライン（Zoom）開催)		
写真と動画でめぐる『神聖喜劇』ゆかりの地の現在	単独発表	2024年03月	「芸術運動と知識人研究会」第4回 特集：対馬と『神聖喜		

書簡で追う大西巨人と野間宏の文学的紐帯 大西の上京から『神聖喜劇』起筆時期までを中心に	単独発表	2025年02月	劇』ーフィールドワークから見えてきたもの(二松學舎大学九段キャンパス) 「芸術運動と知識人」研究会第5回例会「大西巨人への／からの問いかけ」(二松学舎大学九段キャンパス)		
作品・制作等					
その他業績					
書評 宇野田尚哉・坪井秀人編著『対抗文化史——冷戦期日本の表現と運動』	単独	2022年09月	昭和文学研究 第85集		232～234頁
紹介 千葉一幹・西川貴子・松田浩・中丸貴史編著『シリーズ世界の文学をひらく 日本文学の見取り図——宮崎駿から古事記まで』	単独	2022年11月	日本近代文学 第107集		180頁
書評 尾西康充著『新しい野間宏戦後文学の旗手が問うたもの』	単独	2024年08月	『社会文学』60号		253～255頁
書評 山口直孝『大西巨人論マルクス主義と芸術至上主義』	単独	2025年03月	『昭和文学研究』90集		297～299頁
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
2008年04月～現在	早稲田大学国文学会			2016年04月～2018年03月 運営委員	
2009年05月～現在	日本近代文学会				
2011年03月～現在	日本社会文学会				
				2011年07月～2015年06月 運営委員 2018年06月～現在 評議員 2023年06月～現在 理事 2023年07月～現在 運営委員	
2011年04月～現在	文藝と批評の会			2026年04月～現在 運営委員	
2013年04月～現在	昭和文学会				
2026年04月～現在	東アジアと同時代日本語文学フォーラム				
社会活動					
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					
国文学史(2)bにおける映像資料、小テストの活用			2022年04月13日～現在	教科書を用いた講義だけでなく、近年充実が進んでいる文学館等のオンライン教材・展示解説映像や、明治期雑誌・歴史的映像が観られるオンラインデータベースなどを教場で閲覧させ、学生が生き活きと往時をイメージしやすいよう工夫している。 また、授業の区切りごとに小テストを行い、基本的な理解度の確認と学習の動機づけをしている。最終テストでも小テストで問うた内容を一部取り入れることで、復習による知識の定着を確認するとともに、学生が自身の成長を実感しやすくしている。	
国文学講義(7)現代におけるリアクションペーパーと小レポートの活用			2022年04月18日～現在	毎回リアクションペーパーを提出させ、次の時間に質問に回答したり、興味深い意見を受講者全体に共有している。講義科目であってもただ聞くだけでなく、主体的に小説テキストについて考え、調べ、意見をまとめる動機づけとし、意欲的な他の受講生の意見から刺激を受けることを促す取り組みである。 新しい小説を取り上げるたびに、教員の解説を聞く前の自分自身の読解を小レポートを書かせる。事前に取り扱う小説を読んで準備せねばならない環境を作り出すことと、基礎的な文章力の向上を目的とする。	
国文学演習(7)現代ab、国文学演習(7)現代abにおける質疑の促し			2023年04月01日～現在	3・4年生のゼミにおいて、参加者全員に少なくとも1回の発言を求める。疑問点と問題意識を整理し問いかける訓練を全員に積ませ、ゼミを主導する特定の学生に議論を任せる受講者が出ないように留意している。 うまく考えを言葉にできない学生や、感想になってしまい質問に至らない学生に対しては、まずアイデアを発言させた上で教員がそれ	

		を広げて論点とし、発表者や他の学生との議論の種になるよう手助けする。自分の発言が他者に受け止められレスポンスを得たという成功体験を積み、ゆくゆくは自分で問題発見をしていくための土台にしてもらうためである。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
図書館運営委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
文学部FDおよび自己点検・評価実施委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
教務委員	2023年04月 ~ 2025年03月	
教職課程委員	2023年04月 ~ 2025年03月	
文学部FDおよび自己点検・評価実施委員（学部委員長）	2025年04月 ~ 現在	
学生相談室運営委員	2025年04月 ~ 現在	
学生生活委員	2025年04月 ~ 現在	
V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
2012年07月01日	中学校教諭専修免許（国語）	
2012年07月01日	高等学校教諭専修免許（国語）	
特許等		